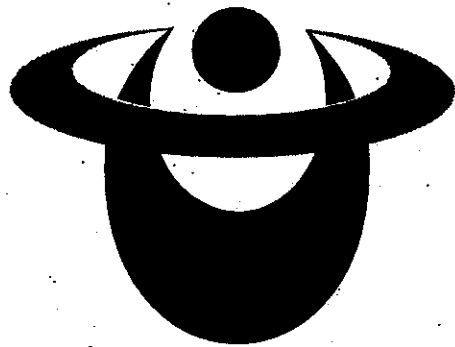


教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価結果報告書

(平成27年度分)



時と水ゆったり流れる

平川市

平川市教育委員会

目 次

1.	はじめに	1
2.	自己点検・評価の実施状況	1
3.	具体的な点検・評価の方法	1
4.	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価	
	シート1 教育委員会の活動	3
	シート2 教育委員会が管理・執行する事務	5
	シート3 教育委員会が管理・執行を教育長に 委任する事務	7
	事務事業評価表	8～34

1. はじめに

平川市教育委員会は、人間尊重の精神を基調として、「個性が尊重され、ひとがきらめくまち」の実現に向けて、夢いっぱい子どもたちの育成、いきいきはつらつ生涯学習の推進、元気はつらつ生涯スポーツの推進、こころ豊かな芸術文化の振興に努め、「こころ豊かな、未来に向かうひとづくり」をめざした教育を推進する。この教育目標の基に、様々な事業を進め、その結果を踏まえて改革に取り組んできました。

これらの事業の効果を把握し、必要性、効率性等の観点から、教育委員会自ら点検・評価を行い、この結果を公表することは、市民に対する説明責任を果たす上で重要なことであり、今後も教育施策を一層推進するよう努めてまいります。

2. 自己点検・評価の実施状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、教育委員会において点検・評価を実施しました。

また、その結果に関する報告書を作成し、平川市議会に報告するとともに平川市ホームページに掲載して、広く市民に公表します。

3. 具体的な点検・評価の方法

(1) 次の3つの項目に分類しました。

- シート1 教育委員会の活動（教育委員会の活動及び運営状況等）
- シート2 教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会の会議に諮られる事項）
- シート3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務（事務局が実施する事務事業）

(2) 3つの事項を次の方法で点検・評価を行いました。

○シート1 教育委員会の活動及び運営状況等について、結果達成度・成果達成度がどの程度になっているかどうかで評価しました。

A・・・達成している（100%）

B・・・ほぼ達成している（80%）

C・・・おおむね達成している（60%）

D・・・達成していない（50%以下）

○シート2 教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会の会議に諮られる事項）について、事務の進捗状況や、教育委員会での審議状況を記載することにより点検・評価を行いました。

○シート3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務事業について、事業実施、成果等を踏まえシート1と同様にA～Dの評価を行いました。

4. 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価シート

平川市教育委員会は、確かな学力と社会性を育む学校教育の充実や、市民の各世代にわたる学びの意欲にこたえる生涯学習の充実などにより、人々の個性が尊重され、共に高めあうまちを目指すため様々な事業を進め、平川市長期総合プランの具現化に取り組んでいます。

この教育委員会の点検・評価については、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たし、その活動を充実させるために実施するものです。

(シート1)

大項目	中項目	小項目	点検・評価	
1 教育委員会の活動	(1)教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	Ⓐ B・C・D	・毎月開催の定例会を12回開催し、臨時委員会を3回開催した。 ・限られた時間の中で、審議漏れはなく、効率的な会議の運営が図られた。
		②教育委員会会議の運営上の工夫	Ⓐ・Ⓑ C・D	・資料について、様式を統一するなど会議運営について工夫した一方で、各課長からの説明について統一されたものが無く、説明に時間を要するなどの課題もあった。
	(2)教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	①教育委員会会議の傍聴者の状況	Ⓐ・Ⓑ C・D	・報道関係者の傍聴はあったが、一般市民の傍聴者は居なかった。
		②議事録の公開、広報公聴活動の状況	Ⓐ・Ⓑ C・D	・教育委員会の透明性・公平性を図る観点から、毎月開催の定例教育委員会の議事録を市ホームページで公開した。公聴活動については、実施できなかった。

大項目	中項目	小項目	点検・評価		
1 教育委員会の活動	(3)教育委員会と事務局との連携	①教育委員会と事務局の連携	Ⓐ	B・C・D ・毎月開催の定例会の運営方法や、議案審議等についても、各委員の意見を聞きながら、会議を進めるなど、連携は十分に図られた。	
	(4)教育委員会と首長との連携	①教育委員会と首長との意見交換等の実施	Ⓐ	Ⓑ	C・D ・教育長は市長と毎週一回、日程等について意見交換を行っている。さらには、総合教育会議を2回開催することにより、首長と意見交換する機会が増え、連携が図られた。
	(5)教育委員会の自己研鑽	①研修会への参加状況	Ⓐ	Ⓑ	C・D ・教育委員一人ひとりが、見識を深めるため、県主催の各種研修会に参加した。また、各委員が、積極的に学校行事や地域行事に参加し、学校現場等の現状把握に努めた。また、情報の共有化を図った。
	(6)学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	Ⓐ	Ⓑ	C・D ・教育現場の実情を把握するため、学校訪問を春と秋の年2回実施した。指導事項を交えて校長、教頭及び教務主任と意見交換を行い、さらには委員会においてまとめを行うことで、委員間の共通理解を図った。 (市内小学校9校 市内中学校4校)
		②所管施設の訪問	Ⓐ	Ⓑ	C・D ・学校訪問実施に合わせ、各教育施設の実情を把握するため、各運動施設及び平賀学校給食センターを訪問し、各施設の整備状況及び整備計画等について確認した。

大項目	中項目	点検・評価
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1)教育行政の運営に関する一般方針を決定すること	・教育行政の運営に関する一般方針については、「平川市の教育」の中で、平川市教育委員会主要施策として各課の方針と重点を定め計画策定時に協議し決定した。各課で、方針に基づいて、教育行政の運営に努めた。
	(2)教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止並びに敷地の選定に関する事	・当該事例なし
	(3)教育委員会規則の制定または改廃に関する事	・教育委員会規則の制定等については、定例の教育委員会において、意見を聞きながら、慎重かつ迅速に審議を行った。
	(4)県費負担職員の懲戒及び県費負担職員で校長の任免その他進退について内申すること	・校長の任免その他進退の内申については、教育委員会に諮った。
	(5)県費負担職員のサービスの監督の一般方針を定めること	・学校管理運営規則及び学校職員サービス等に関する規程に基づき、サービス規律等の確保に努めた。また、毎月開催の定例校長会において、定期的にサービス規律のマニュアルを提示し、具体的に指導し、交通違反、交通事故、体罰等の防止に努めた。
	(6)教育長、事務局長、課長、所長その他教育機関の長の任免を行うこと	・教育委員会内の異動について、教育委員会に諮った。
	(7)教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を述べる事	・教育委員会関係の条例制定や改正等について、教育委員会に諮り、意見を聞いた。
	(8)条例、規則に定める附属機関の委員の任命、委嘱又は解任、解嘱を行うこと	・各課で委嘱している各種委員の任命及び委嘱について、教育委員会に諮った。

大項目	中項目	点検・評価
2 教育委員会が管理・執行する事務	(9)校長、教頭その他教育機関職員の研修の一般方針を定めること	・「平川市の教育」の中で、重点目標の最重要課題として位置づけ、市内小中学校に指導した。また、校長面談において各学校長に研修の充実を図るよう指導した。
	(10)学齢児童・生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	・該当事例なし
	(11)教科用図書を選定すること	・平成28年度小学校及び中学校において使用する教科用図書について教育委員会に諮った。
	(12)文化財の指定及び解除に関する事	・該当事例なし。
	(13)地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定による点検及び評価に関する事	・教育委員会の活動、教育委員会が管理・執行する事務と教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務等について、点検・評価を実施し、教育委員会で報告及び承認を受け、議会に提出した。また、市ホームページに掲載し一般市民に周知した。

大項目	本目	個別目標	具体的事務業務	評価欄	No.	担当課
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	「こころ豊かな未来へ向かうひとつづくり	夢いっぱい子どもたちの育成	就学援助事業	B	1	学校教育課
			理科教育等備品整備事業	C	2	〃
			教育振興会補助金	A	3	〃
			小中学校スクールバス運行委託事業	B	4	〃
			中学校太陽光発電設備蓄電地整備事業	B	5	〃
			小学校・中学校体育館非構造部差異耐震化事業	B	6	〃
			学校給食センター運営事業	B	7	平賀学校給食センター
			平川市教職員研修	B	8	指導課
			児童会・生徒会サミット	B	9	〃
			平川市子ども議会	A	10	〃
			学力向上対策(学習支援員配置)事業	B	11	〃
			外国語活動支援員派遣事業	B	12	〃
			指導主事による学校訪問	B	13	〃
			いじめ防止対策条例等施行	B	14	〃
			放課後こども教室推進事業	B	15	生涯学習課
		いきいきはつらつ生涯学習の推進	各種講座(平成の寺子屋)	B	16	生涯学習課
			未来の担い手発掘・育成・支援事業	C	17	〃
			ブックスタート事業	B	18	平川市図書館
			図書館運営事業	B	19	〃
		元気はつらつ生涯スポーツの推進	たけのこマラソン大会補助金	B	20	保健体育課
			スポーツ派遣事業補助金	B	21	〃
			NPO法人平川市体育協会補助金	B	22	〃
			第2期平賀総合運動施設整備事業	B	23	平川市運動施設
			平川市新体育館建設事業	B	24	〃
			平賀屋内運動場屋根幕張力補強事業	A	25	〃
		こころ豊かに芸術文化の振興	小中学生芸術鑑賞事業	A	26	生涯学習課
			文化財保護事業	A	27	〃

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	就学援助事業	事業№	1
-------	--------	-----	---

担当課	学校教育課	担当課長	大湯幸男	担当者	廣瀬陽史	内線等	2263
予算科目	一般会計 10款2項2目小学校教育振興費、10款3項2目中学校教育振興費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業開始年度 平成27年度
	主要施策	1-1-1	教育環境の整備	事業終了年度 平成27年度
根拠法令・要綱等	平川市就学援助事業実施要綱			
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他()			
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	学校教育法第19条に基づき、経済的理由により就学が困難である児童生徒の保護者に対し、義務教育を受けるにあたり必要となる経費の一部を援助する。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	要保護(生活保護)、準要保護と認められる児童生徒の保護者
事業の目的	経済的理由により就学が困難である児童生徒の保護者に対し援助を行い、学校教育の均等化を図る。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	①各学校において事業を周知し、保護者より随時就学援助申請を受け付ける。 ②申請があった世帯の市民税課税状況等を調査し、認定基準を満たす保護者に援助を決定する。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	経済的理由により就学が困難である児童生徒について、援助することにより、義務教育が円滑に実施される。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
22,320	264	0	0	22,056

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

就学援助認定となった児童生徒の保護者に対し、給食費、学用品購入費、修学旅行費等を援助した。 ①小学校 対象者:154名 支給総額:11,069,458円 ②中学校 対象者:107名 支給総額:11,249,544円

5. 評価

B	当市における義務教育の均等化・円滑化の実施に資する事業であり、援助を要する保護者に対して就学援助費として支給しているが、制度の内容や手続き等について、引き続き学校を通じて保護者に広くかつ、わかりやすく周知する必要がある。(特に、転入される保護者に対して)
----------	---

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	教育振興会補助金	事業№	3
-------	----------	-----	---

担当課	学校教育課	担当課長	大湯幸男	担当者	今井栄子	内線等	2262
予算科目	一般会計 10款 1項 2目 事務局費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-1	教育環境の整備
根拠法令・要綱等	平川市学校教育振興会補助金交付要綱		
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他()		
委託先(委託内容)	[]		
事業の概要	小学校陸上競技大会、学校音楽発表会、文集ひらかわ、学校保健会、児童生徒作品展の運営に係る事業費、小・中学校の部活動等の大会出場に係る費用に対する補助金の交付。		

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	平川市学校教育振興会(市内小・中学校全校で組織)
事業の目的	市内小・中学校が主体となって実施する事業に係る費用や、小・中学校の部活動として大会等に出場する際の費用に対して補助金を交付し、学校教育の振興を図る。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	小学校陸上競技大会、学校音楽発表会、文集ひらかわ、学校保健会、児童生徒作品展の運営を継続することができ、また、部活動等の大会出場にかかる経費の一部を補助することで、活動を支援する。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	各分野での事務局を運営する教職員の意欲的な取り組みにより、児童・生徒にとって有意義な事業を実施できたと同時に、教職員の実践的指導力が高められ、平川市の学校教育の振興に対して効果がある。また、部活動等の各種大会における成績が一段と向上し、児童・生徒及び指導教員の意欲が高まる。

3. 決算額(単位:千円)

事業費総額	財源内訳		
	国県補助金	(参加者)負担金	その他
9,453	0	0	0
			一般財源 9,453

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

小学校陸上競技大会、学校音楽発表会、文集ひらかわ、学校保健会、児童生徒作品展の事業費として1,306千円、部活動の大会等派遣費として8,147千円(のべ38大会)を支出した。

5. 評価

A	小学校陸上競技大会、学校音楽発表会、文集ひらかわ、学校保健会については、学校教育の振興が図られた。部活動の大会派遣費については各校とも優秀な成績で、補助金は随時協議等を交えながら要綱に従って適正に処理した。
---	---

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	小・中学校スクールバス運行委託事業	事業No.	4
-------	-------------------	-------	---

担当課	学校教育課	担当課長	大湯 幸男	担当者	相馬 大生	内線等	2265
予算科目	一般会計 10款2項1目・10款3項1目			学校管理費			

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	事業開始年度	平成27年度
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業終了年度	平成27年度
	主要施策	1-1-1	教育環境の整備		
根拠法令・要綱等					
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
委託先(委託内容)	中央タイヤ、(株)ビック・ウイング、弘南バス(株) [バス管理運転委託料]				
事業の概要	学校の統廃合などにより学校所在地までの通学距離が遠距離となった児童生徒に対し、指定の乗降場所から学校までのスクールバス運行を委託し、通学手段の確保をしている。				

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市内学校に通学する対象地域の児童、生徒
事業の目的	学校所在地までの通学距離が遠距離となった児童生徒の通学手段を確保するため、スクールバス運行をする。
事業の現状 (目的実現のための手段 及び実施内容)	①運行するための委託契約(4路線うち市有バス3台)を締結する。 ②年間学校行事、授業等による運行日、運行時間変更は、学校と受託業者、学校教育課で調整している。 ③利用する児童生徒の自己負担なし。
事業の成果 (どのような成果を得よう としているか)	児童生徒の通学に係る身体的負担の軽減、保護者の経済的負担の軽減により、義務教育環境の充実を図る。 なお、業者所有の貸切バスに係る運行費用について、平成27年度(補助の初年度から5年間対象)から国庫補助金対象路線として、県スポーツ健康課経由で、補助金が交付されている

3. 決算額(単位:千円)

事業費総額	財源内訳			
	国庫補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
21,302	1,435	0	0	19,867

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

対象地域の児童生徒に対し、指定する乗降場所から学校までの4路線のスクールバス運行経費を全額負担し、通学手段、安全を確保した。
--

5. 評価

B	スクールバス運行による通学手段を確保し、義務教育環境の充実を図る事業であるが、児童生徒の安全確保のため、運転手の交通規則遵守をはじめモラルの育成及び指導を行い、スクールバスの安全運行を一層図る必要がある。
----------	--

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	中学校太陽光発電設備蓄電池整備事業	事業No.	5
-------	-------------------	-------	---

担当課	学校教育課	担当課長	大湯 幸男	担当者	相馬 大生	内線等	2265
予算科目	一般会計 10款3項1目 学校管理費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業開始年度 平成27年度
	主要施策	1-1-1	教育環境の整備	事業終了年度 平成27年度
根拠法令・要綱等				
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他（工事完了）			
委託先(委託内容)	(有)平賀電気商会、アール・エー・ビー開発(株) [工事請負費・委託料(監理)]			
事業の概要	市内小学校、中学校は、市防災計画に基づき避難施設の指定を受けているが、停電時(緊急時)の電気を確保が課題であったことから、市内全4中学校に対し、蓄電池整備を行うことで、停電時(緊急時)の電気を確保する。なお、前年度に市内全9小学校に対し、蓄電池整備が完了している。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市内学校に通学(通勤)する対象地域の生徒、教職員及び地域住民等
事業の目的	蓄電池整備を行うことで、停電時(緊急時)の電気を確保する。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	①全4中学校に蓄電池整備をした。 ②学校と受託業者、学校教育課で設置場所を調整した。 ③生徒、教職員、地域住民等の自己負担なし。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	蓄電池整備を行うことで、停電時(緊急時)の電気を確保できる。

3. 決算額(単位:千円)

事業費総額	財源内訳			
117,191	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
	104,096	0	0	13,095

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

蓄電池整備を行うことで、停電時(緊急時)の電気を確保でき、災害時における教職員の対応、及び生徒を自宅に送るまでの対応が出来るようになった。

5. 評価

B	蓄電池整備を行うことで、停電時(緊急時)の電気を確保でき、生徒、教職員の安全安心を図る体制づくりが出来た。また、地域住民の避難場所としての機能強化に資することが出来た。
---	--

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	小学校・中学校体育館非構造部材耐震化事業	事業No.	6
-------	----------------------	-------	---

担当課	学校教育課	担当課長	大湯 幸男	担当者	相馬 大生	内線等	2265
予算科目	一般会計		10款2項1目・10款3項1目	学校管理費			

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業開始年度 平成 27 年度
	主要施策	1-1-1	教育環境の整備	事業終了年度 平成 27 年度
根拠法令・要綱等				
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他（工事完了）			
委託先(委託内容)	(有)斎藤ホーム、せんだい建設(株)、斎杉建設(株)、(有)淡利建築設計事務所、(株)辰巳設計、佐藤建築 [工事、委託料(監理)]			
事業の概要	柏木小学校、尾上中学校の体育館、平賀西中学校の武道場・体育館は、吊り天井を設置しているため、撤去等を行う工事を行い、ほか6小学校(小和森小学校が大規模改造工事着手、平賀東小学校は改築事業着手予定のため除いた)とほか2中学校は、照明器具、バスケットゴール等の非構造部材の落下防止対策工事を実施し、安全安心な学校施設とする。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市内学校に通学(通勤)する対象地域の児童、生徒、教職員、地域住民等
事業の目的	学校の武道場・体育館で吊り天井を設置している場合は、撤去等を行う工事を行い、照明器具、バスケットゴール等の非構造部材の落下防止対策工事を実施し、安全安心な学校施設とする。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	①非構造部材耐震工事、落下防止対策工事を実施した。 ②年間学校行事、授業等による工事作業時間等変更は、学校と受託業者、学校教育課で調整した。 ③学校施設を利用する児童、生徒、教職員、地域住民等の自己負担なし。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	日常の学校生活での児童、生徒、教職員、地域住民の安全安心な学校施設の整備や学校施設が避難所として機能するための機能強化等を図る。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
107,920	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
	34,026	0	0	73,894

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

学校の武道場・体育館で吊り天井が設置されている場合に、撤去等を行う非構造部材耐震化工事を行い、照明器具、バスケットゴール等の非構造部材の落下防止対策工事を実施し、安全安心な学校施設とした。
--

5. 評価

B	日常の学校生活での児童、生徒、教職員、地域住民の安全安心な学校施設の整備や学校施設が避難所として機能するための機能強化等を図ることが出来た。
---	--

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	学校給食センター運営事業	事業№	7
担当課	学校給食センター	担当課長	北道正人
		担当者	北道正人
予算科目	学校給食センター特別会計	内線等	44-2835

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-1	学校給食の充実
根拠法令・要綱等			
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()		
委託先(委託内容)	[]		
事業の概要	安全で安心できる学校給食の提供 平賀学校給食センターにおいて 1,762食/日 尾上学校給食センターにおいて 802食/日		

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市立小中学校全校
事業の目的	ぬくもりのある安全でおいしい学校給食を提供するため、衛生・安全管理の改善・充実と地場農産物の調達、配送などが円滑に行えるよう施設設備の整備、管理運営体制を図る。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	地場産品の積極的使用に努め、地産地消の推進に取り組む。 また、栄養士等による調理員に対する衛生講習会及び衛生管理指導を徹底し、調理器具等の洗浄・消毒を頻繁に行う。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	地場産品の使用率拡大およびノロウイルス感染症と食中毒等の発生を未然に予防する。

3. 決算額(単位:千円)

事業費総額	財源内訳		
314,050	国県補助金	(参加者)負担金	その他
			128,094
			185,956

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>①市内農産物使用率は、市、生産者との連携が強化されつつあるが、横這い状態で推移している。 (使用量:22年度14.4%、23年度17.3%、24年度15.7%、25年度15.1% 26年度15.0%、27年度15.3%)</p> <p>②衛生管理の徹底・調理員の意識向上により、食中毒防止が図られ、安全な食材を使用した給食を定時に提供できた。</p>
--

5. 評価

B	<p>①市内産農産物利用率向上に向け、更なる生産者との連携強化が必要である。</p> <p>②安全・衛生管理等の徹底により、ノロウイルス感染症及び食中毒等の発生を予防出来た。</p> <p>③各小中学校へ遅延なく配送することが出来た。</p>
---	---

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	平川市子ども議会	事業No.	10
担当課	指導課	担当課長	鳥山 喜代志
		担当者	桜庭 裕之
予算科目	10款 教育費 1項 教育総務費 3目 指導費		
内線等	2293		

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業開始年度 平成27年度
	主要施策	1-1-2	学校教育の充実	事業終了年度 平成27年度
根拠法令・要綱等				
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他()			
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	市議会議場において、市内小学生の代表が議員及び市理事者として議会を疑似体験することを通して、行政や市議会の仕組みについて学習し、平川市の将来の「まちづくり」に関心を深める機会を創出する。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市内小学生代表
事業の目的	子ども議会を体験することを通して、行政や市議会の仕組みについて学習し、平川市の将来の「まちづくり」に関心を深める機会を創出することを目的とする。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	①平川市の魅力を見直すとともに、将来の平川市の「まちづくり」を考えながら、議会制民主主義の仕組みについて学んだ。 ②4班に分かれて、議員と市長の立場になって質問書と答弁書を作成した。 ③各班からの質問と、それに対する市長と子どもたちからの答弁、子ども議会決議を行った。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	平川市を支えていく児童生徒のリーダーとしての資質を身に付けさせたい。また、議会制民主主義の仕組みを学び、身近な政治について考える「きっかけ」になることを期待する。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財 源 内 訳			
	0	国庫補助金	(参加者)負担金	その他
			一般財源	

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

①小学生の代表者が、議員及び市長の立場になって質問書と答弁書を作成することで、平川市を見つめ直すとともに、将来の「まちづくり」について、考えることができた。 ②模擬議会という機会の中で、建設的な意見・提案、そして答弁を体験でき、市議会の仕組みに触れることができた。

5. 評価

A	各学校の代表という意識をもち、公的な場所において意見提案、答弁ができる児童生徒のリーダーとして必要な資質の向上が図られた。
---	---

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	学力向上対策(学習支援員配置)事業	事業No.	11
担当課	指導課	担当課長	鳥山 喜代志
		担当者	小田桐 功幸
予算科目	10款 教育費 1項 教育総務費 3目 指導費	内線等	2291

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱいこどもたちの育成
	主要施策	1-1-2	学校教育の充実
根拠法令・要綱等			
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他()		
委託先(委託内容)	[]		
事業の概要	市内全小・中学校に1名(金田小・小和森小・松崎小・平賀東小は2名)の学習支援員を配置し、個に応じた指導の充実を図りながら、個別支援や授業の質を高め、基礎基本の徹底による学力の向上を目指すことを目的とした事業である。		

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市内小・中学校児童生徒
事業の目的	市内全小・中学校に1名(金田小・小和森小・松崎小・平賀東小は2名)の学習支援員を配置し、個に応じた指導の充実を図りながら、個別支援を大切に授業の質を高めるとともに、基礎基本の徹底により学習意欲を高め、学力向上を目指す。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	平成19年度から平川市内の全ての小・中学校に1名の学習支援員を配置し、授業におけるチームティーミングや長期休業中の学習支援を実施。支援員の活用方法に工夫を加えながら、個別指導を生かした授業の充実により、学力向上へ意識化を図ってきた。26年度からは大規模小学校や学校の実情に応じて4小学校へ2名の支援員を配置している。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市内全小・中学校に1名、また、大規模小学校や発達障害等の障害を抱える児童数の多い小学校へ2名の学習支援員が配置されたことにより、担任だけでは目の届かない児童生徒にも支援を行うことができ、学習意欲が増し落ちついて授業を受ける児童生徒が多くなった。

3. 決算額(単位:千円)

事業費総額	財 源 内 訳			
15,693	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
				15,693

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

支援を必要とする児童生徒への声がけ(見守り)やつまづきを見せている児童生徒一人一人のつまづきの程度や頻度に応じて、指導の充実を図りながら授業の質を高めるとともに、基礎基本の徹底により学習意欲を高め、学力向上が図られた。また、発達障害等の障害を抱えた児童生徒も落ち着いて授業に臨んでいた。

5. 評価

B	児童生徒一人一人のつまづきの程度や頻度に応じた指導ができ、落ちついて授業を受ける児童生徒が多くなってきて学力の定着が図られてきている。平川市の学力実態に鑑み、より効果的な活用方法を考えていきたい。
----------	--

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	外国語活動支援員派遣事業	事業No.	12				
担当課	指導課	担当課長	鳥山 喜代志	担当者	小田桐 功幸	内線等	2291
予算科目	10款 教育費 1項 教育総務費 3目 指導費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな未来へ向かうひとづくり			
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成		事業開始年度	平成27年度
	主要施策	1-1-2	学校教育の充実		事業終了年度	平成27年度
根拠法令・要綱等						
事業実施の手法	■ 直営 □ 委託 □ 補助金 □ その他 ()					
委託先(委託内容)	[]					
事業の概要	外国語活動の授業における学級担任の指導の補助の他、教材・教具の作成や協力、更には発音指導を学級担任に代わって行い、小学生時期から英語に慣れ親しみながら国際感覚を身につけさせるための派遣事業である。					

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市内小学校の児童生徒
事業の目的	外国語活動の授業における学級担任の指導の補助の他、教材・教具の作成や協力、更には発音指導を学級担任に代わって行い、小学生時期から英語に慣れ親しみながら国際感覚を身につけさせることを目指す。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	市内9小学校に対して2名の外国語活動支援員を配置(小和森小は学習支援員兼務)し、外国語活動がある時間に各小学校へ派遣している。外国語活動支援員は、外国在住経験のある人材を採用しているため、発音はもとより外国の文化にも精通しており、外国語や外国に対する興味・関心を高める効果的な派遣事業となっている。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	外国語や外国の文化について、小学校時期から興味・関心を高めることによって、中学校の英語教育に対する抵抗感が排除され、中学校入学後の英語の学習意欲が高まっている。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財 源 内 訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
1,835				1,835

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

現在は、外国語活動支援員1名につき4校の小学校を巡回指導することで目的とする成果を十分あげている。今後、小学校における外国語教育の動向に応じた対策も必要不可欠である。

5. 評価

B	言語や文化についての理解が深まるとともに、コミュニケーション能力の育成が図られており、派遣は効果的である。今後は、支援員としての立場や役割について再確認させるとともに、子ども理解や接し方等についても指導・助言していきたい。
---	---

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	いじめ防止対策条例等施行	事業No.	14
担当課	指導課	担当課長	鳥山 喜代志
担当者	荒田 孝将	内線等	2292
予算科目	10款 教育費 1項 教育総務費 3目 指導費		

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-2	学校教育の充実
根拠法令・要綱等	いじめ防止対策推進法		
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
委託先(委託内容)	[]		
事業の概要	市、学校、家庭、地域住民、その他関係者の連携のもと、いじめの問題を克服し、根絶に向けて取り組むよう、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。		

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	児童生徒
事業の目的	いじめの防止等(いじめの未然防止、いじめの早期発見・早期対応)の対策のために、平川市いじめ防止基本方針を定めるとともに、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とする。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	(平成25年9月 いじめ防止対策推進法施行) 平成28年2月 平川市いじめ防止基本方針策定 平成28年3月 平川市いじめ防止基本方針策定～対応マニュアル～策定 ※参考 平成28年4月 平川市いじめ防止対策審議会条例施行 平成28年4月 平川市いじめ問題対策連絡協議会設置要綱制定
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	いじめの未然防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を講じ、いじめの問題を克服し、根絶に向けて取り組む。

3. 決算額(単位:千円)

事業費総額	財 源 内 訳			
0	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

いじめ防止対策推進法により努力規定されている「平川市いじめ防止基本方針」を策定したうえで、対応マニュアルを定めた。 また、同法で任意規定されている「平川市いじめ防止対策審議会」、「平川市いじめ問題対策連絡協議会」の設置に向けた関係例規整備の準備を行った。
--

5. 評価

B	平川市いじめ防止基本方針及び対応マニュアルの策定により、体制組織の整備、いじめの防止等の対策、いじめ対応フローチャートを定めた。今後、各学校がこうした条例や基本方針等の趣旨を踏まえ、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応などの取組の徹底を図る必要がある。
----------	---

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	放課後子ども教室推進事業	事業No.	15
-------	--------------	-------	----

担当課	生涯学習課	担当課長	小田桐 農夫吉	担当者	須藤 恵子	内線等	44-1221
予算科目		一般会計 10款 4項 1目 社会教育総務費					

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり		
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業開始年度	平成27年度
	主要施策	1-1-3	青少年教育の推進	事業終了年度	平成27年度
根拠法令・要綱等		放課後子ども教室推進事業実施要綱			
事業実施の手法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
委託先(委託内容)		[]			
事業の概要		放課後の子ども達の安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の協力を得て、子ども達とともに体験活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施する。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市内小学生(平賀・尾上地区:36名、碓ヶ関地区:13名)
事業の目的	子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進する。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	「読み聞かせ」、「ものづくり」、「スポーツ(新体操)」教室など、教育活動推進員や教育活動サポーター(地域のボランティア団体)に運営を依頼している。 ①わくわくひらかわ教室(市内全域)・年10回 (あみまつハウス) ②わくわく新体操教室(碓ヶ関地区)・40回程度 (碓ヶ関RGC) ※ 土曜日の活動を基本に事業実施。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	地域の大人の協力を得て学校等を活用し、計画的に子どもたちの活動拠点(居場所)を確保できる。また、子どもたちに対して様々な体験活動や地域住民との交流活動等を支援できる。

3. 決算額(単位:千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
284	189			95

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

わくわくひらかわ教室10回、わくわく新体操教室42回(平日22回・土曜日と休日20回)実施した。
 ①他の小学校の子どもたちと交流ができ、仲間づくりがうまくいった。
 ②意見を発表する機会が増えたことにより、自信につながっている。
 ③様々な体験学習を行うことにより、学習に深みができた。
 ④指導者の創意工夫により、参加児童が十分に楽しみ意欲的に発言をするようになっている。

5. 評価

B	小学生(1年生~6年生)の中で、互いに協力して作業をすることにより仲間意識が芽生えている。わくわく教室は、平賀公民館で実施しており周辺の小学生の参加が多いが、碓ヶ関地域からの参加者がいない状態である。
---	--

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	未来の担い手発掘・育成・支援事業	事業No.	17
担当課	生涯学習課	担当課長	小田桐 農夫吉
担当者	須藤 恵子	内線等	44-1221
予算科目	一般会計 10款 4項 1目 社会教育総務費		

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-2	いきいきはつらつ生涯学習の推進
	主要施策	1-2-1	生涯学習の推進
根拠法令・要綱等	若者の社会参加促進事業に係る「若者の拠点づくり支援」実施要項		
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()		
委託先(委託内容)	[]		
事業の概要	公民館等の社会教育施設を拠点として、若者と地域、または若者同士の出会いやつながりを形成するため、講座・ワークショップ等を実施する。		

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	高校生から概ね40代までの若い世代
事業の目的	地域活動への参画意欲を持つ人材を発掘し、学びと実践を通して未来の平川市を担うリーダーを育成する。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	若い世代に関する情報が少ないこと、若い世代の地域に対する関心が薄いことから、参加者が少なく思うような事業展開ができない状態である。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	①ファシリテーター能力・リーダー能力・地域活動能力の向上 ②地域での人材・ネットワークづくり ③公民館(社会教育施設)を拠点とした地域活動の仕組みづくり

3. 決算額(単位:千円)

事業費総額	財源内訳		
1,166	国県補助金	(参加者)負担金	その他
	583		583

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>事業への参加者は、当初10名でスタートし途中新たなメンバーを加えながら、最終的には17名となった。内容は、地域活動のプロによる講座を7回、尾上地域のまち歩きを1回、地域おこしのイベントを1回、先進地視察研修を1回行ったほか、地域のことを考えるワークショップを17回行った。</p>

5. 評価

C	<p>事業は計画どおり実施されたが、講座内容により参加者の増減が大きかった。また、事業の目的である人材の発掘並びにリーダーを育成したとは言い難い。今後、魅力ある講座・ワークショップを継続的に開催するとともに、課題を発見し実践するリーダー的人材を育成するための具体的なプログラムづくりを行う必要がある。</p>
---	--

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	ブックスタート事業	事業No.	18
担当課	平川市図書館	担当課長	小田桐 農夫吉
		担当者	山口 佳紀
		内線等	44-7665
予算科目	一般会計 10款 4項 4目 図書館費		

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	事業開始年度	平成27年度
	個別目標	1-2	いきいきはつらつ生涯学習の推進	事業終了年度	平成27年度
	主要施策	1-2-1	生涯学習の推進		
根拠法令・要綱等					
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他()				
委託先(委託内容)	[]				
事業の概要	乳児健診時に、絵本を紹介したり、読み聞かせをしながら、「ブックスタートパック」を保護者に手渡す。				

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	4ヶ月健診児の保護者
事業の目的	保護者が絵本を介してやさしく語りかけることの大切さと、親子のふれあいを深めてもらうと共に、子育て支援や幼児期からの読書に対する動議づけを図り、図書館利用の足掛かりとする。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	健診対象者の情報を健康推進課から提供してもらい、事前に4ヶ月児の図書カードを作成し、ブックスタートパック(絵本2冊、読み聞かせの冊子と図書館のお知らせ等を、トートバックに入れたもの。)と一緒に、健診時に配布している。その際、読書推進運動協議会の協力により絵本の紹介とともに読み聞かせも行っている。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	絵本を開きかけをすべての赤ちゃんと保護者に提供し、親子の触れ合う時間をもつことにより、子育て支援や幼児期からの読書習慣、そして図書館の利用拡大につながる。

3. 決算額(単位:千円)

事業費総額	財源内訳			
427	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
				427

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>幼児期から、本に接する機会を設けることで、家族団樂の場の提供や将来の人間形成に係る指針の一助となった。 平成27年度配布実績:194人</p>
--

5. 評価

B	幼児期から本に親しむ習慣と、親子の触れ合いを形成するとともに、幼児への図書館カード提供により図書館の利用拡大を図っているが、事業実施してまだ3年目であり、今後も継続的な活動を行う必要がある。
---	---

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	平川市スポーツ派遣事業補助金	事業No.	21
担当課	保健体育課	担当課長	齋藤 茂樹
担当者	松田 正志		
内線等	43-0660		
予算科目	一般会計	10款	5項 1目 保健体育総務費

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進
	主要施策	1-3-1	生涯スポーツ・レクリエーションの推進
根拠法令・要綱等	平川市スポーツ大会参加に関する補助金交付要綱		
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()		
委託先(委託内容)	[]		
事業の概要	「平川市スポーツ大会参加者に関する補助金交付要綱」に基づき、市内小・中学生を対象として旅費、宿泊費等について補助金を交付する。		

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市内在住の小・中学生を対象
事業の目的	補助金交付要綱に定められた団体等が主催する東北大会並びに全国大会等に出場する小・中学生に対し、補助金で支援することにより保護者の負担を軽減し、大会に参加しやすい環境を提供するとともに、平川市の知名度を高めることを目的とする。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	年々、申請者が増加しており、各種競技団体等へ補助金制度についての周知が行き届いている状況である。ただし、毎年当初予算では賅えない状態となっており、予算流用等で対応している。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	より多くの選手に東北・全国大会に出場をしていただきたいと考えており、補助金を交付することで参加者への財政負担を軽減し、大きな舞台で活躍や経験をしてもらうことで、自身の成長とともにスポーツの振興に寄与している。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
700	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
				700

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>年々、申請者が増加しており、スポーツ大会派遣事業は大きな成果を上げている。しかし、大会会場が遠路になると財政面での負担が大きいため平成27年度に「平川市スポーツ大会参加に関する補助金交付要綱」の対象枠の拡大や補助金額などの一部改正を行い、より充実した制度とした。</p>
--

5. 評価

B	<p>各種競技団体へ補助金制度があることについて、少しずつではあるが周知され申請は増加傾向にある。ただし、採択基準等の詳細については十分理解されていない状況であることから、それらの周知も必要である。</p>
---	---

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	第2期平賀総合運動施設整備事業	事業No.	23
担当課	平川市運動施設	担当課長	齋藤茂樹
担当者	葛西孝弘	内線等	43-0660
予算科目	一般会計	10款	5項 3目
総合運動場整備事業費			

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進
	主要施策	1-3-3	スポーツ施設の充実
根拠法令・要綱等			
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他（請負）		
委託先(委託内容)	[]		
事業の概要	平賀総合運動場施設の第2期計画として、陸上競技場、多目的広場を主体として整備し、既存施設であるひらかドーム、屋内温水プール、テニスコート等の施設と一体化を図る。平成27年度：陸上競技場・多目的広場の工事発注、平成28年度：建築物3棟と市道改良工事発注及び備品購入、平成29年5月頃の供用開始を見込んでいる。		

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	陸上競技場、多目的広場を主体とした第2期平賀総合運動施設の整備
事業の目的	市民に生涯スポーツ、健康づくり、レクリエーションの場を提供し、スポーツ振興並びに競技力の向上を図るとともに、憩いの場としても利用してもらう。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	第2期平賀総合運動施設整備事業として計画された本事業のうち、平成27年度は陸上競技場を1工区、多目的広場を2工区とし、28年度までの2カ年で工事を進めている。また、平成28年度に発注予定の管理棟・トイレ棟・倉庫棟・市道改良・備品購入についても準備を進めている。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	運動施設を集約し、市民が利用しやすい環境を整備することにより、スポーツに親しみ、地域スポーツの振興が図られる。 特に、陸上競技場においては、第4種公認に適合する全天候型トラックとして整備することで、雨天でも利用可能となり、陸上競技における競技力向上と各種大会の開催が期待できる。

3. 決算額(単位：千円) ※平成27年度支払済額

事業費総額	財源内訳			
446,746	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
				446,746

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

平成27・28年の2カ年で整備する計画となった本事業は、工区を二つに分け、両工区とも特定建設工事共同企業体による受注となったことにより、工事に対する機動力・技術力が期待できる状況となり、平成27年度末における進捗率は54%と、ほぼ計画どおり順調に施工され、両工区とも設定工期よりも早い降雪前の完了が見込める状態となっている。また、4種公認においても、計画どおり11月に検定を受けることで進めている。

5. 評価

B	工事に関しては、年度末における進捗が計画どおりであったことから、順調に施工されているといえる。ただし、事務手続きに遅れたものがあった。28年度においても事業完了に向け、引き続き許認可事務・工事工程管理・備品選定等について、十分精査を進めていきたい。
---	--

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	平賀屋内運動場屋根膜張力補強事業	事業No.	25
担当課	平川市運動施設	担当課長	齋藤茂樹
		担当者	葛西孝弘
予算科目	一般会計	10款	5項 2目 総合運動施設費
		内線等	43-0660

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	ころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-3	元気はつらつ生産スポーツの推進
	主要施策	1-3-3	スポーツ施設の充実
根拠法令・要綱等			
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他（請負）		
委託先(委託内容)	[]		
事業の概要	専門業者による定期的屋根膜張力検査の結果と維持管理方針に基づき、基準値より60%以下に張力が落ちている13パネルに対し、再張力導入工事を行うものである。		

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	平賀屋内運動場屋根膜
事業の目的	屋内運動場屋根膜の適正な維持管理を行うことにより、施設の長寿命化と利用者の安全確保を図る。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	屋内運動場屋根膜は特殊構造であり、施工可能な業者は東北地方でも2~3社しかないことから、同施設の建設工事を請負した、鹿島建設(株)東北支社との随意契約で実施した。同社と綿密に施工計画を立て、各箇所とも構造に合った施工方法をとることで、全力所とも基準値以上の張力を得ることができた。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	屋根膜の張力が不十分のままでは、積雪や風力による破損の恐れがあるが、今回の補強工事により施設の長寿命化と利用者の安全確保が図られる。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
53,460	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
				53,460

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>屋根膜については、毎年度、点検を実施しており前年度の検査結果から、再張力導入に踏み切ったものである。張力が低下している部分に積雪や水が溜まることで設計を超える荷重が掛かり破損に繋がることや長期の放置で張力の低下を加速させる場合があることから、今回の工事により、これらの問題が軽減された。 今後、今回対象とされなかった各パネルにおいても、従来どおり点検を実施し、維持管理していく必要がある。</p>

5. 評価

A	<p>屋根膜のみならず、各設備とも建設からかなり経過していることから、全体的に修繕等の維持管理費がかさむ傾向にある。今後の維持管理についても点検を委託するなど、専門業者の知識・協力を得ながら適正な管理に努めていく必要がある。</p>
---	--

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	小・中学生芸術鑑賞事業	事業№	26
担当課	文化ホール	担当課長	小田桐 農夫吉
		担当者	葛西 勝
予算科目	一般会計 10款 4項 5目 文化センター費		

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1-4	こころ豊かに芸術文化の振興	事業開始年度 平成27年度
	主要施策	1-4-1	芸術文化活動の振興	事業終了年度 平成27年度
根拠法令・要綱等				
事業実施の手法	<input checked="checked" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	劇団等による演劇、ミュージカル、音楽伝統芸能等の優れた芸術作品鑑賞の場を小・中学生に提供する。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	平川市内の小・中学生
事業の目的	優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供に努め、歴史と伝統を尊び文化の薫り高い心豊かな小・中学生を育成するとともに、文化センターホールの利用促進を図る。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	文化センターホールにおいて、中学校・小学校高学年・小学校低学年ともそれぞれ1日2回(午前・午後)公演を開催している。演目については、各学校の担当者と連携・協議のうえ決定している。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	普段接する機会の少ない舞台芸術鑑賞により、芸術文化のすばらしさを知ってもらい心豊かな、小・中学生を育成することができる。

3. 決算額(単位:千円)

事業費総額	財源内訳			
3,683	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
		2,066		1,617

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

小学生は「TOKYOスーパーイリュージョン」に1,610名が参加、中学生は「学校寄席」に903名が参加し鑑賞した。舞台芸術の楽しさ、素晴らしさに触れ、豊かな感性が育かれた。
--

5. 評価

A	学校と行政が一体となり芸術鑑賞を通じて芸術・文化のすばらしさを子どもたちに体験させることにより、感性豊かな心を育む取組みの一助となった。
---	--

事務事業評価表

平成27年度

事務事業名	文化財保護事業	事業No.	27
担当課	生涯学習課	担当課長	小田桐 農夫吉
		担当者	滝本 学
予算科目	一般 会計 10款 4項 3目 文化財保護費		
	内線等	44-1221	

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-4	こころ豊かに芸術文化の振興
	主要施策	1-4-2	文化財の保護と活用
根拠法令・要綱等	文化財保護法、平川市文化財保護条例、平川市郷土資料館条例、平川市無形文化財等保存継承事業補助金交付要綱		
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()		
委託先(委託内容)	[]		
事業の概要	補助金により文化財の保存・保護を支援し、国民共有の財産である文化財を後世に伝えるとともに、災害等による損失を避けるための火災訓練の実施や教育普及事業の実施により、市民の文化財愛護精神および郷土愛の育成を図る。		

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市民及び文化財所有者
事業の目的	文化財を適正に保存・保護し、郷土の歴史や文化財を活用した各種教育普及事業を実施することにより、身近な歴史文化遺産への関心を高め、郷土に対する愛着と誇りを培う。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	市補助金による無形文化財団体への支援、火災防ぎょ訓練、国名勝盛美園の保存整備事業(名勝、盛美園保存整備事業/国・県・市補助事業)などを実施している。また、教育普及事業として児童対象の体験学習や見学会などのほか、市制施行10周年記念事業として「棟方志功展～東涌西没の世界～」、「工藤哲彦版画展～ふるさとの心を彫る～」を実施した。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	各種補助金による支援や災害等による損失を避けるための火災防ぎょ訓練を実施して文化財を後世に正しく伝え、各世代を対象にした学習機会の提供により、文化財や地域の歴史・文化の理解を促すことができる。また、整備事業を実施することで、国名勝盛美園の景観復旧や安全管理を図ることができる。

3. 決算額(単位:千円)

事業費総額	財源内訳			
2,780	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
				2,780

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>①教育普及事業として児童対象1事業、一般対象2事業を実施したほか、市制施行10周年記念事業として「棟方志功展」と「工藤哲彦版画展」を実施し、各世代を対象とした事業を展開することができた。</p> <p>②市内無形文化財保存団体(6団体)に対する市補助による支援や火災防ぎょ訓練、文化財パトロール、無形文化財等映像記録保存事業などを実施し、文化財の保護を図るとともに防災協力体制の確認することができた。</p> <p>③国・県、市補助による国名勝盛美園保存整備事業(H27～H31年度)の実施により、随所が毀損する国名勝の景観復旧を図ることができる。</p>

5. 評価

A	文化財保護と保護意識、防災意識向上を図るため、無形文化財等保存継承事業、教育普及事業、火災防ぎょ訓練などを継続し、埋蔵文化財も引き続き上位法に基づき対応している。また、盛美園保存整備は複数年事業のため効果的に行われるよう努めている。なお、市内各所に設置されている文化財説明板・標柱の劣化が進行しているため計画的な更新を要する。
---	---